

岡田新吾さん・星野雨さん

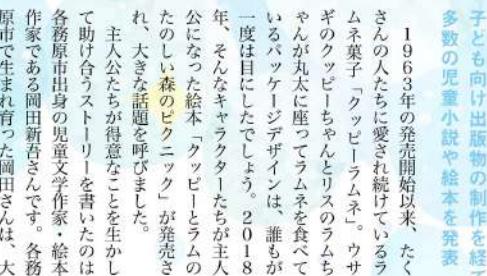
2018年にクッピーラムネの絵本を発表した

児童文学作家・絵本作家の岡田新吾さんと
イラストレーター・絵本作家の星野雨さん

2人はどちらも各務原市の出身です。

地元に対する思いや今後の目標などを聞きました。

学連学のため上京。卒業後



A photograph showing a man and a woman sitting at a desk in an office setting. The man, wearing a dark suit, is gesturing towards a drawing on the desk. The woman, wearing a blue jacket, is looking at the drawing with him. They appear to be discussing it. In the background, there are shelves with books and papers.

小学生向け学習雑誌「4年の科学」の巻頭特集ページを中心とする編集

これまでに多数の著書を出版しています。

その後も、動物の生態を正しく伝える東山動植物園監修の「シヤバーエーディー」や、「子どもたちの身体表現を扱った「のびるのびるのびる」など、明確なテーマを掲げた絵本を数多く発表。児童小説も含め、



これまでに岡田さんが手がけた児童小説や絵本の数々。クッピーラムネの絵本「クッピーラムのたのしい森のビクニック」(三恵社)をはじめ、2009年に発売した児童小説の処女作「約束のつばさ」(ゆいぱおと)、東山動植物園監修の「シャバーニ だいすき」(三恵社)、2019年に発売されたもっとも新しい絵本「あちち あちち」(三恵社)など、多彩な作品を発表しています。

「オリジナルの世界観を元に、LINEスタンプでよく見られる色の塗り方なども参考にしながら、何度も試行錯誤繰り返しました」と星野グラデーションキャラクターのかわいらしさを強調したり、背景の色に濃淡をつけて奥行き感を出すなど、水彩画の良さを生かして絵本らしいあたたかみを加えることにこだわったと振り返ります。

地元である各務原の魅力 絵本の創作をはじめとして、私たちを対象とした仕事が大好きで、いう岡田さん。「ダイレクトなのがストレートに返ってくるのがいいですし、何よりも子どもたちが日本の未来にとっての宝物。これらも自分なりにいろいろなメッセージを伝えていきたい」とほほえます。一方の星野さんも、「小さい頃から絵本が大好きだった私は、今の子どもたちにも絵本の楽しさを伝えたいたら。今後も、みんな

下街で開催された「絵本クリエーターフェスティバル2019」に出展。その後も、同年11月に各務原市の「遊びの森」一帯で「マーケット日和」にあわせ開催された巡回展でも紹介されました。さらには、今年に入つてからも「絵本クリエーター展」の巡回は続いた。草薙BOOKSの各務原店でもイベントが行われました。



2019年11月にイベント「マーケット日和」の一環として開催された「絵本クリエーター展 各務原2019」。各務原市中央図書館と学びの森にあるカワフ「KAKAMIGAHARA STAND」の2箇所で行われ、たくさんの子どもや保護者で賑わいました。今年1月から2月にかけての1ヶ月間、草薙BOOKSの各務原店舗で行われた「絵本クリエーター展」も草薙BOOKS。

いる子どもも歌舞伎や、名産品である各務原にんじんや鮎料理など、地元の郷土芸能や文化なども積極的に発信していくたい」と声をそろえますとともに各務原市出身のクリエイターワークshop 1である岡田さんと星野さん。2人による絵本の共作は、まだまだ始まつたばかりです。これからも同じ地元であることの利点を生かしながらたくさんさんの素敵な絵本をつくっていくつてくれるに違いありません。



イラストレーター
脚本作家
星野雨さん
Hoshino Ame
デジタルと水彩画
を融合させた、独特
であったかみの
ある表現を得意と
しています